

News Letter



2025年11月15日（土）

第11回 日本感染管理ネットワーク 北海道支部道南ブロック研修会開催

テーマ 超高齢化時代・2025年問題と感染対策

オープニング セミナー

市立函館保健所 保健予防課 主査（保健師）成田 香苗 先生「函館市の感染症の動向」

一般講演

病院や介護施設などで、高齢者の感染対策に従事する5名の講師よりご講演いただきました。

1. 函館渡辺病院 感染管理認定看護師 工藤 悦子先生
「精神疾患を有する高齢患者への感染対策の実践報告」
2. 函館五稜郭病院 地域連携室係長 武田 正公先生
「退院支援・地域連携での感染症患者への対応」
3. 特別養護老人ホーム えさし荘看護主任 看護師 木村 愛美先生
「高齢者施設での感染対策 新型コロナウイルスへの取り組み」
4. 訪問看護ステーション ほくと（北斗市市議会議員）看護師 佐々木 亮先生
「訪問看護ステーションでの感染対策」
5. ひでしま内科クリニック 訪問リハビリテーション 理学療法士 清野 佳寿美先生
「訪問リハビリテーションの現状 ～感染予防と訪問事業所の役割～」



教育講演

独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター 感染症内科医長 藤田 崇宏先生

「みんなで考える高齢者の感染症と感染対策」



高齢者は感染症の症状が非特異的で「いつもと違う」早期発見が重要であること、薬剤耐性菌は介護・医療従事者の手で広がるため、手指衛生や個人防護具、環境清掃の徹底が不可欠であること又、終末期は自然経過も考慮し、状況に応じた的確な対策の重要性を学ぶことができました。

お忙しい中、函館へ駆けつけてくださり、ありがとうございました！

編集後記

この度の研修会が無事に終了しましたこと、協賛企業の皆様、支部役員、参加者の皆様に心より感謝申し上げます。道内外の医療機関や高齢者施設など多様な職種・立場からの参加があり、高齢社会における感染対策への関心の高さを改めて実感しました。このご縁を大切にしながら、今後の励みとして精進してまいります。
道南ブロック研修会役員一同

